

# 第1回 富士川町男女共同参画推進委員会 会議録

1. 会議の名称 第1回富士川町男女共同参画推進委員会

2. 会議日時 令和8年5月22日（金）午後7時～

3. 開催場所 富士川町役場会議室101

4. 出席者 出席9名

5. 傍聴人数 0名

6. 会議の内容 (1) 令和7年度の計画進捗状況について  
(2) 令和8年度の活動計画について  
(3) その他

7. 発言等の内容

(1) 令和7年度の計画進捗状況について

【事務局の説明】資料

令和8年3月に策定した、第三次男女共同参画基本計画「多様な価値観がきらめくふじかわ推進プラン」において、計画を着実に推進していくため、毎年度その進捗状況の点検・評価を行い、男女共同参画推進委員会に報告することとしている。

このことから、目標設定に対する令和7年度の取り組み状況を本委員会において報告させていただく。

男女共同参画推進に関する講座等の年間開催数について、令和7年度の状況は2回、令和7年度はぴゅあ峡南の出前講座を利用し、推進員の勉強会を開催した。今後は出前講座をさらに積極的に活用し、早い時期で早い時期に開催できるよう努めていく。また、県立男女共同参画推進センター主催の講演やイベント等は、広報ふじかわに掲載するなど、積極的に情報を発信してきた。

男女共同参画推進センターの講座等の年間参加者数について、ぴゅあ峡南に確認したところ、61名の参加があった。

広報誌への男女共同参画に関する記事の年間掲載数について、毎月広報に掲載し、年12回掲載した。多様性を尊重する夫婦別姓など、男女共同参画の視点から、意思決定の場への女性の参画などを考え、様々なテーマで啓発記事を掲載を行った。引き続き意識啓発を図っていく。

男女共同参画推進に関する研修会への保育士の参加率について、ぴゅあ峡南の出前講座を利用し、講師である松尾怜さんをお迎え、保育士20名と去年に比べ40%伸びた。

性別により限定されない制服の導入に関する検討年間実施回数は、令和7年度は0回だが、令和7年の4月に開校した富士川中学校の制服は、性別に関係なくジャケットを同じデザインとし、スラックス、スカートを選べる仕様にし、開校当初から生徒が着用している。

国際交流事業の年間実施回数は12回。日本語教室を4月に開校し、全26回実施した。ふれあい交流事業は、英語にふれよう2回を実施し、48人の参加があった。11月には7年ぶりのワールドグルメプラザを開催し、約60人の会員が参加した。

自治会・各種団体等の共催による男女共同参画に関する講座等の年間実施回数は1回。推進委員および各行政委員、各区の参加者77名により、山梨県の出前講座を利用した。

防災会議委員（8号委員：自主防災組織および学識経験者）への女性登用率50%。引き続き8号委員への女性登用に取り組む。

災害時における各長期避難所運営本部への女性の配置について、令和7年度は、大規模災害における長期避難所運営がなかったが、発災後、必要に応じて一般地震災害職員配備要領に基づき、女性配置を予定している。

各消防団への女性消防団員の配置人数は、第3分団で3人女性がいる。引き続き、各分団1人程度の女性団員が配置できるよう、団員の確保に取り組む。

行政委員・審議会等委員への女性登用率は、令和7年度は26.2%だった。②別表より、令和8年4月1日時点の各行政委員への女性の登用率の一覧より、昨年度から0.05%増加している。また、一番登用率が高いのは男女共同参画推進員、次に地域包括支援センター運営協議会委員、3番目に子ども子育て会議委員となっている。

両親学級の年間開催数は6回。妊婦体験や沐浴実習を、父が参加しやすい日曜日に開催した。男性の育児参加への啓発、意識の向上を図ってきた。来年度も積極的に父親の参加を促していきたい。

育児教室への父親参加率は6.0%で、昨年度より12.5%減になっているが、母子保健担当の育児教室は平日の日中開催であり、父親の参加は少ない状況でした。

またピョピョクラブへの父親参加人数は23名だった。

DVに関する講座等への年間参加者数は1人とどまっている。DV防止の認識を高めるため、講座等の参加の周知活動強化に取り組んでいきたい。

意見、質疑

**【委員】**

行政委員の女性登用率について、なぜ男女共同参画推進委員会が一番登用率が高いのか。他の行政委員は委員を選任する際に、女性を登用しようと考えているのか。

**【事務局】**

現状、成りて不足もあり、積極的に女性を登用しようとはまでは考えられていないのではないかと。

**【委員】**

昨年度も県主催の出前講座等を開催してきたが、学校等の関係機関にPRしていったらどうか。

**【事務局】**

学校関係であったら教育委員会に話すとか、直接学校へ話しに行くとか進めて行く。

**【委員】**

資料2ページ、自治会・各種団体等の運営に関するアンケートの年間実施回数がなぜ0回か。

**【事務局】**

各種団体との共催事業がそもそも実施できなかったためである。県主催の講座であれば、県がアンケートをとったこともあったが、あくまでも県が主体でアンケートをとったため、町の実績にはならない。また令和7年度は町民意識調査に係るアンケートをとったが、これは基本計画を作成するためのアンケートであり、共催事業の折りにとったアンケートではない。よって実績は無しとなった。

(2) 令和8年度の活動計画について

【事務局の説明】資料6 ページ

今後の男女共同参画推進委員会予定

- ・7月1日(水) 第2回男女共同参画推進委員会
- ・10月1日(水) 第3回男女共同参画推進委員会

なお、第3回男女共同参画推進委員会の時に、ぴゅあフェスティバル2026のことについて詳細説明を行う予定。

県主催事業予定

- ・日程未定 男女共同参画図画コンクール
- ・12月12日(土)、13日(日) ぴゅあフェスティバル2026  
(※峡南は12日のみ)

意見、質疑なし